

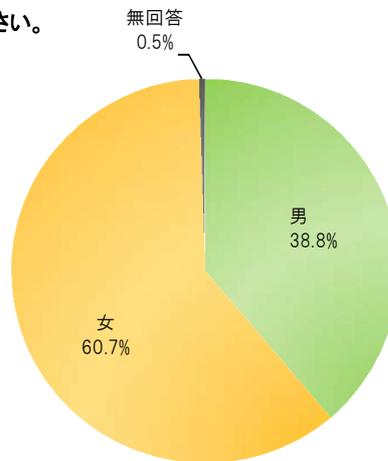
1. あなたご自身について

年齢や居住地による意向の特性を把握するために、あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別にあてはまる番号を○で囲んでください。

選択肢	件数	比率
1. 男	370	38.8%
2. 女	579	60.7%
無回答	5	0.5%
計	954	100.0%

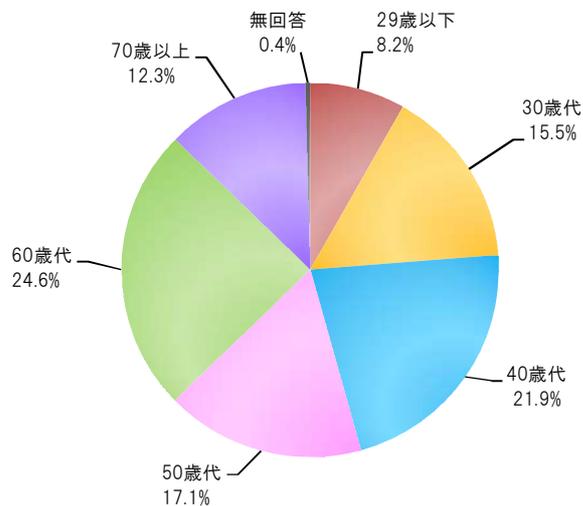
複数回答による集計除外1名



問2 あなたの年齢にあてはまる番号を○で囲んでください。

選択肢	件数	比率
1. 29歳以下	78	8.2%
2. 30歳代	148	15.5%
3. 40歳代	209	21.9%
4. 50歳代	163	17.1%
5. 60歳代	234	24.6%
6. 70歳以上	117	12.3%
無回答	4	0.4%
計	953	100.0%

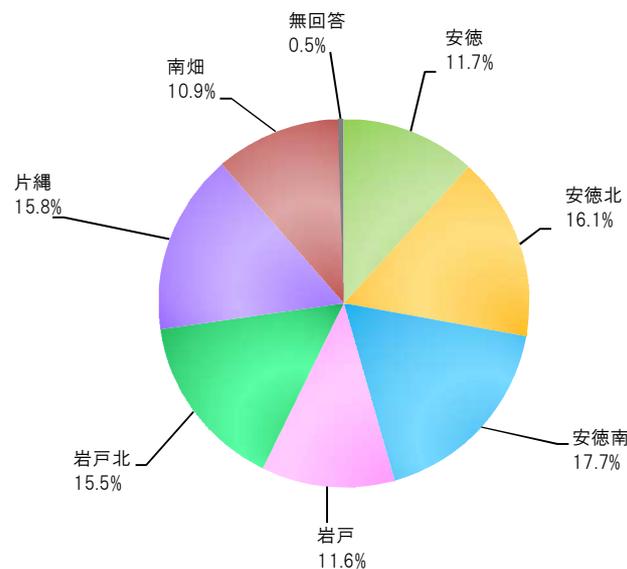
複数回答による集計除外2名



問3 あなたの居住地(小学校区)にあてはまる番号を○で囲んでください。

選択肢	件数	比率
1. 安徳	112	11.7%
2. 安徳北	154	16.1%
3. 安徳南	169	17.7%
4. 岩戸	111	11.6%
5. 岩戸北	148	15.5%
6. 片縄	151	15.8%
7. 南畑	104	10.9%
無回答	5	0.5%
計	954	100.0%

複数回答による集計除外1名



2. お住まいの地域の環境について

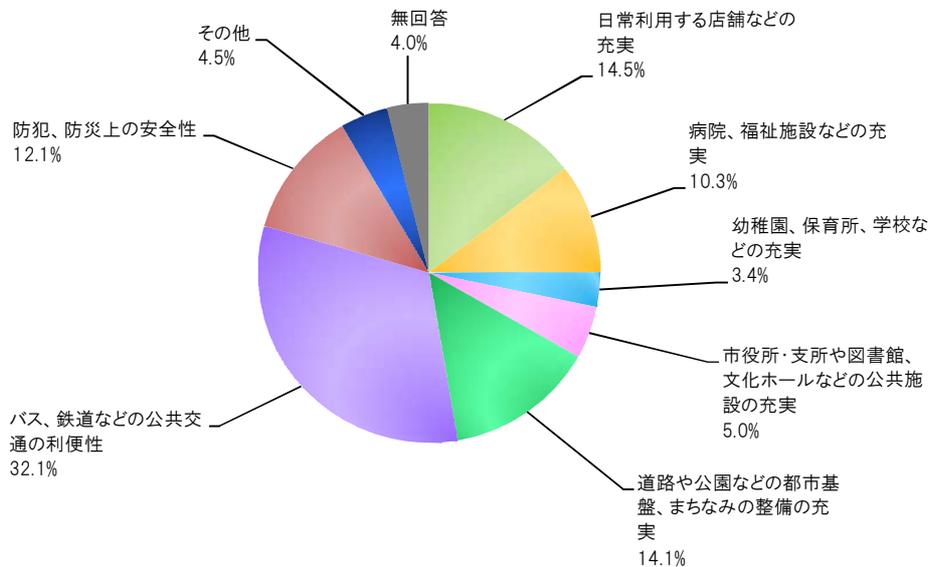
問4 現在のお住まいの地域(小学校区)に関して、改善されれば良いと思うことは何ですか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

◆年代別・地域別問わずバス・鉄道などの交通の利便性の改善が求められている(32.1%)

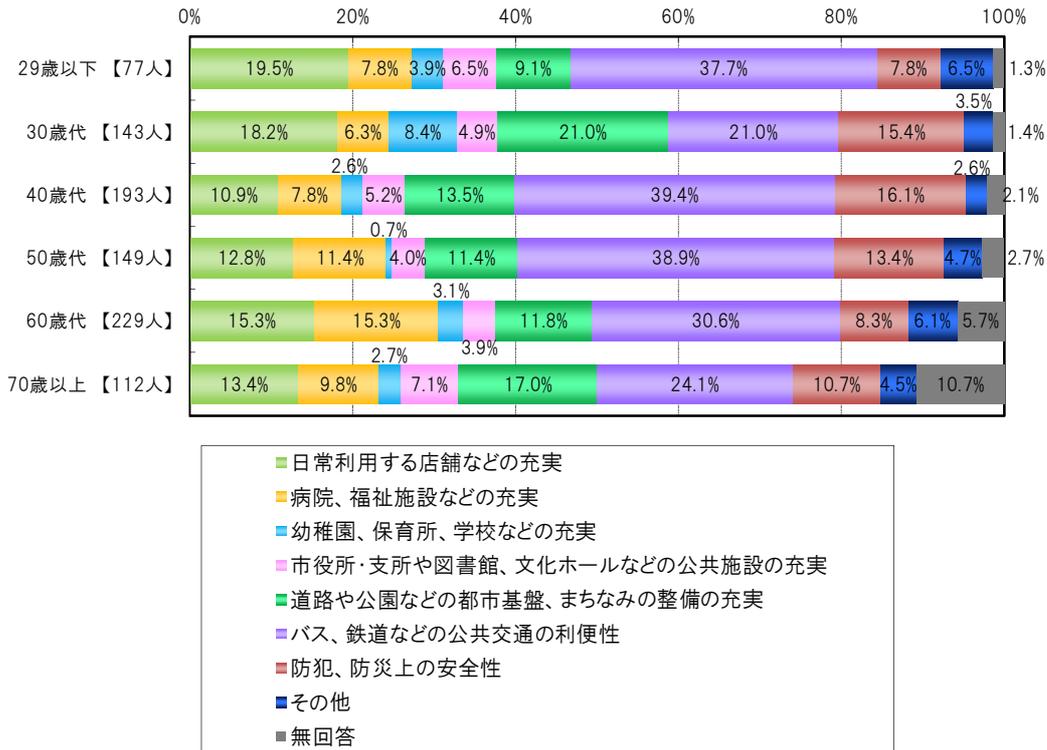
◆次いで、日常利用する店舗などの充実(14.5%)、道路や公園などの都市基盤・まちなみ整備の充実(14.1%)、防犯・防災上の安全性(12.1%)が求められている

選択肢	件数	比率
1. 日常利用する店舗などの充実	132	14.5%
2. 病院、福祉施設などの充実	94	10.3%
3. 幼稚園、保育所、学校などの充実	31	3.4%
4. 市役所・支所や図書館、文化ホールなどの公共施設の充実	45	5.0%
5. 道路や公園などの都市基盤、まちなみの整備の充実	128	14.1%
6. バス、鉄道などの公共交通の利便性	292	32.1%
7. 防犯、防災上の安全性	110	12.1%
8. その他	41	4.5%
無回答	36	4.0%
計	909	100.0%

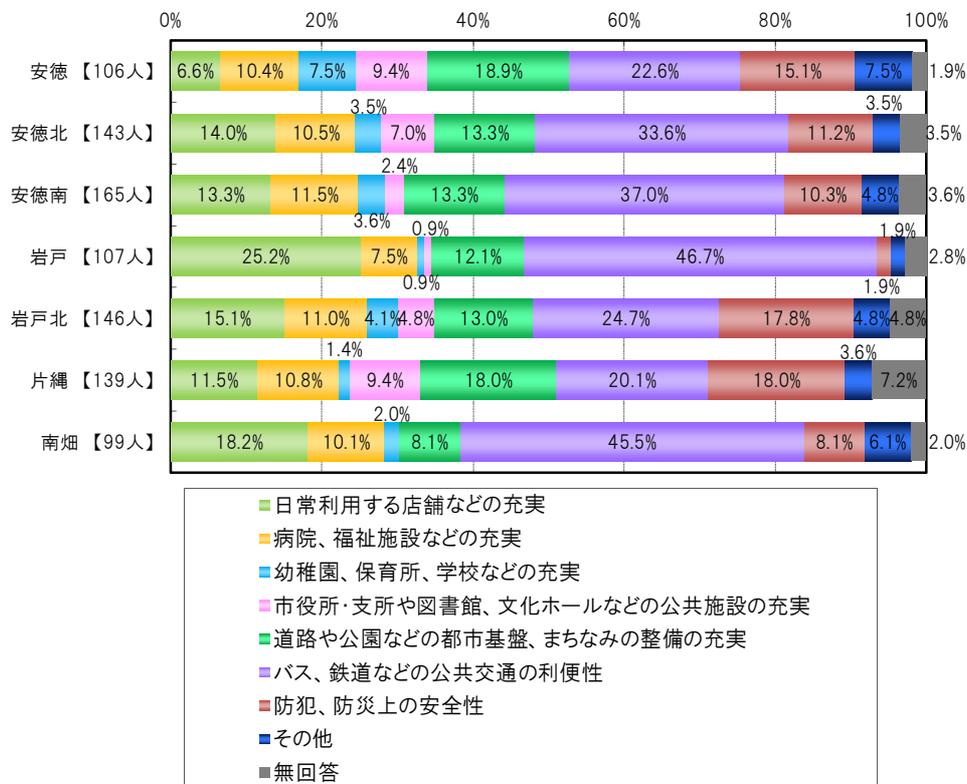
複数回答による集計除外46名



□ 年代別



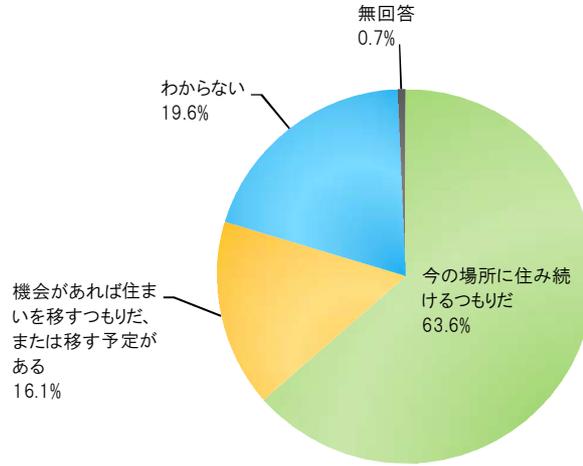
□ 居住地域別



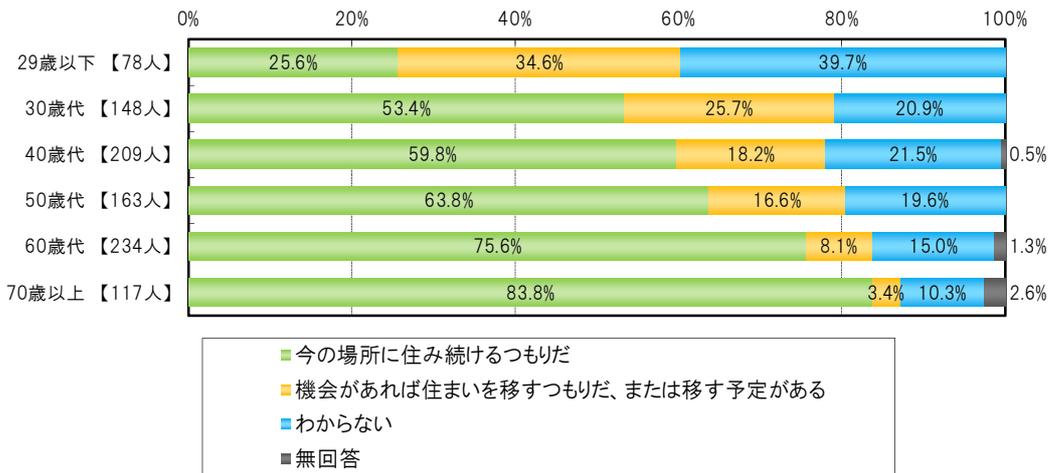
問5 今後の住み替えのご予定はありますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- ◆現在の居住地に住み続ける意向の割合が最も多い(63.6%)
- ◆年代別では、年代が若くなるほど住み続ける意向の割合が少ない
- ◆地域別では南畑地域が現在の居住地に住み続ける意向が最も多く、安徳北地域が最も低い

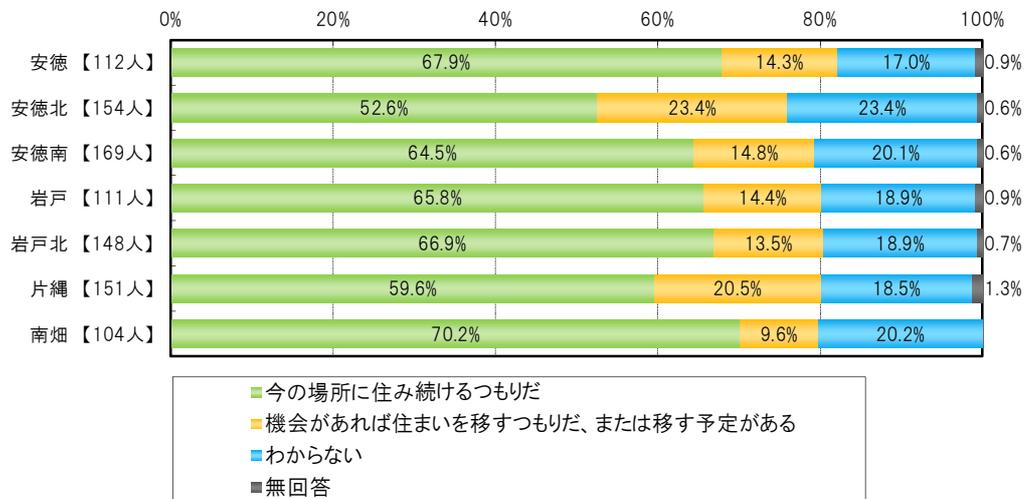
選択肢	件数	比率
1. 今の場所に住み続けるつもりだ	607	63.6%
2. 機会があれば住まいを移すつもりだ、または移す予定がある	154	16.1%
3. わからない	187	19.6%
無回答	7	0.7%
計	955	100.0%



□ 年代別



□ 居住地域別



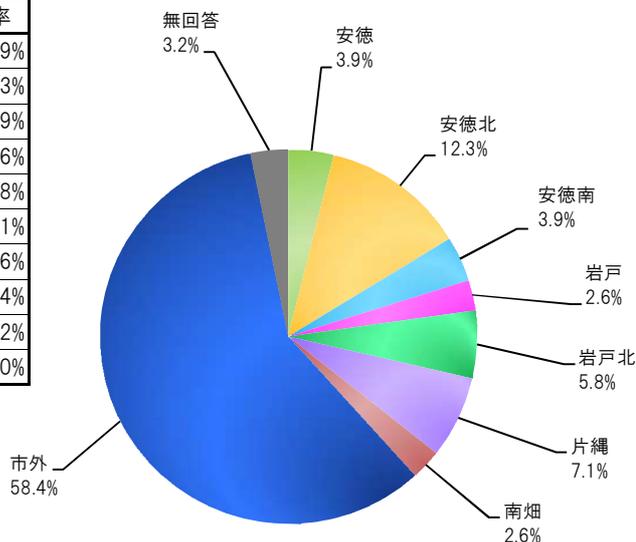
問6 問5で「2 機会があれば住まいを移すつもりだ、または移す予定がある」と回答された方にお尋ねします。
お住まいを移すご予定の場所(小学校区)について、最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

◆移転の意向がある市民の移転先として最も多いのは市外(58.4%)で、特に福岡市への移転を予定する人が多い

◆市内の移転先として最も多いのは安徳北地域(12.3%)

問5で「2 機会があれば住まいを移すつもりだ、または移す予定がある」と回答された方 154人

選択肢	件数	比率
1. 安徳	6	3.9%
2. 安徳北	19	12.3%
3. 安徳南	6	3.9%
4. 岩戸	4	2.6%
5. 岩戸北	9	5.8%
6. 片縄	11	7.1%
7. 南畑	4	2.6%
8. 市外	90	58.4%
無回答	5	3.2%
計	154	100.0%



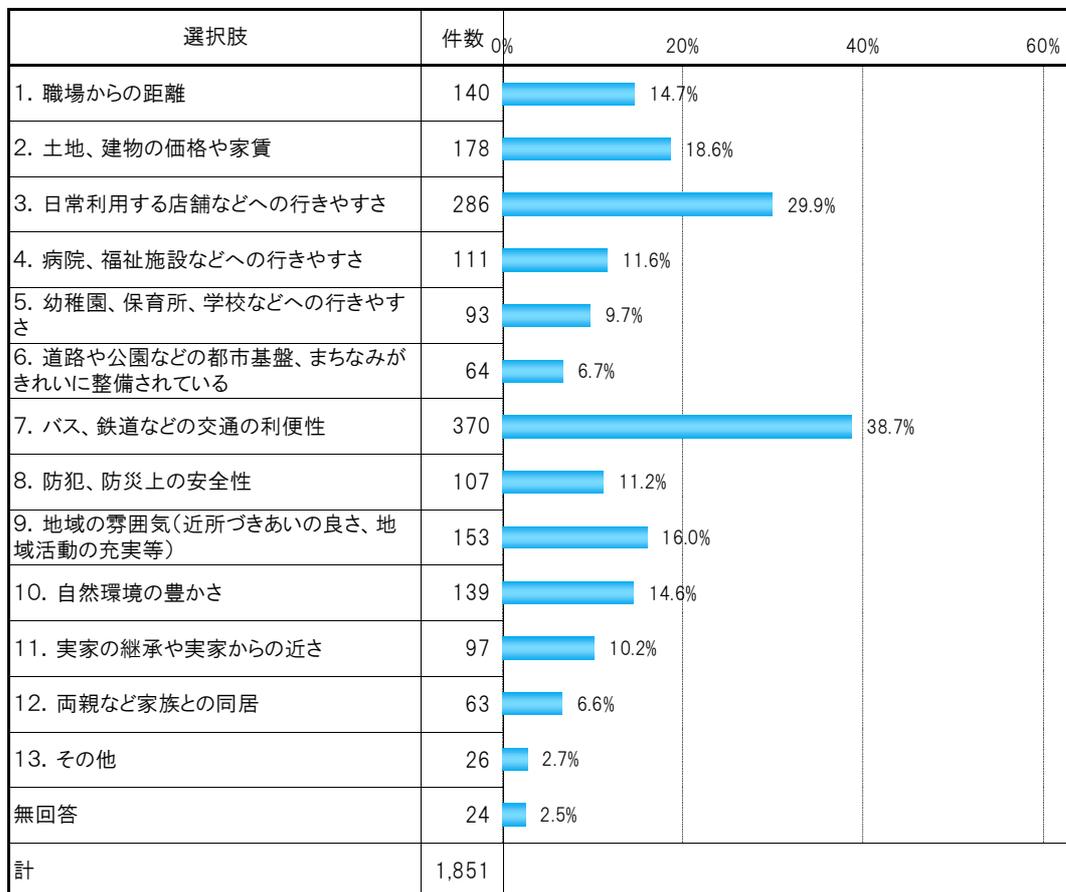
【8. 市外】の内訳

都道府県	市町村	件数	都道府県	市町村	件数
福岡県	福岡市	27	鹿児島県	記入なし	1
	春日市	6	沖縄県	記入なし	1
	糸島市	3	広島県	広島市	1
	大野城市	2	京都府	京都市	1
	久留米市	1	神奈川県	厚木市	1
	大宰府市	1	北海道	記入なし	1
	未定	1	石川県又は千葉県	記入なし	1
	記入なし	5	転勤族の為不明	記入なし	1
佐賀県	鳥栖市	1	不明(公務のため)	記入なし	1
	記入なし	1	記入なし	記入なし	33
					90

問7 お住まいを決める条件として重要なことは何ですか。よくあてはまるものを2つ選び、番号を○で囲んでください。

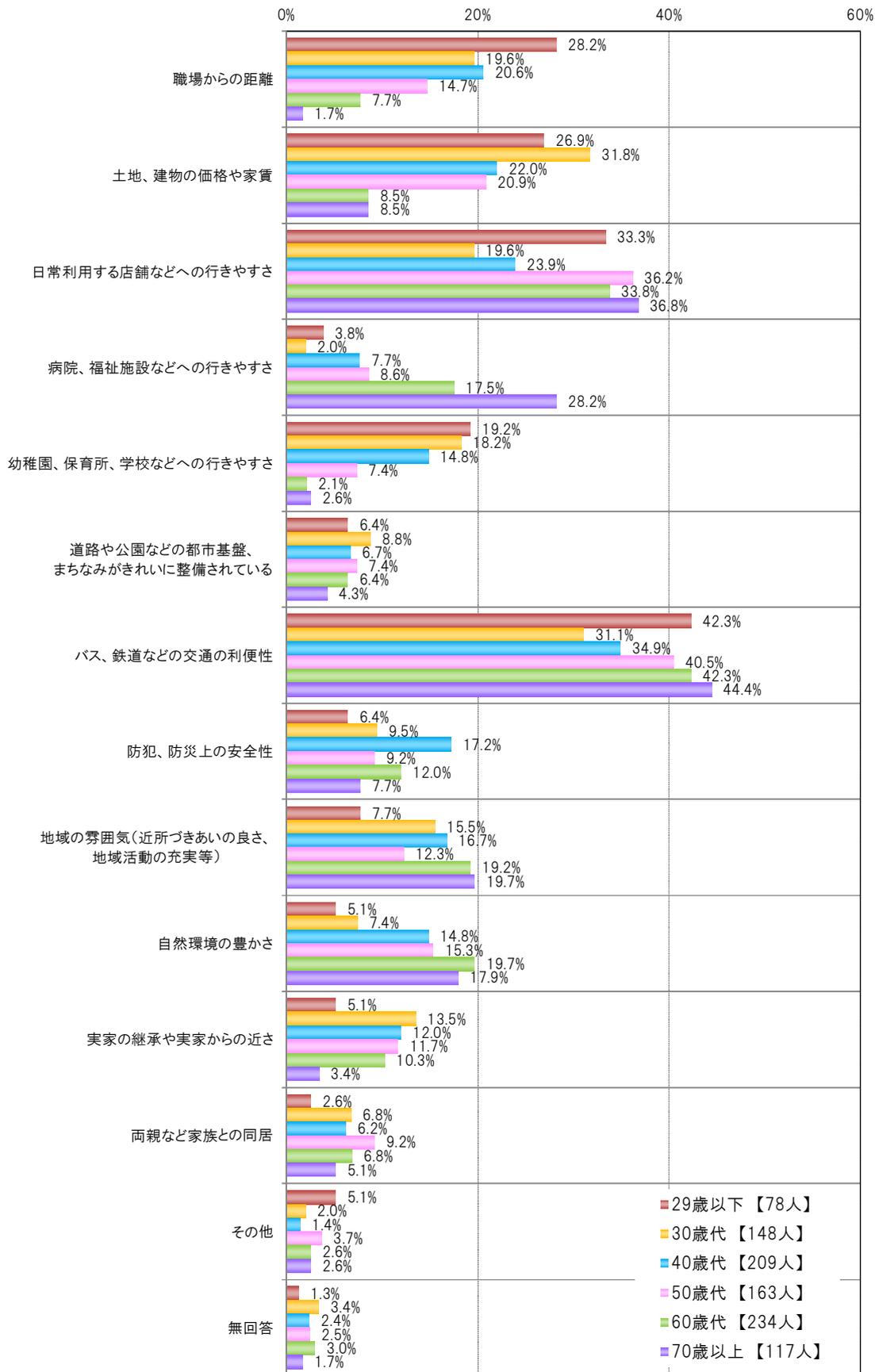
◆住まいを選ぶ際に重視することは、バス、鉄道などの交通の利便性(38.7%)、次いで日常利用する店舗などへの行きやすさ(29.9%)

◆年代別では、29歳以下の若い世代は職場からの距離や各施設へのアクセス利便性を重視する傾向が強く、年代が上がるにつれ病院・福祉施設へのアクセスや周辺の自然環境を重視する傾向がある

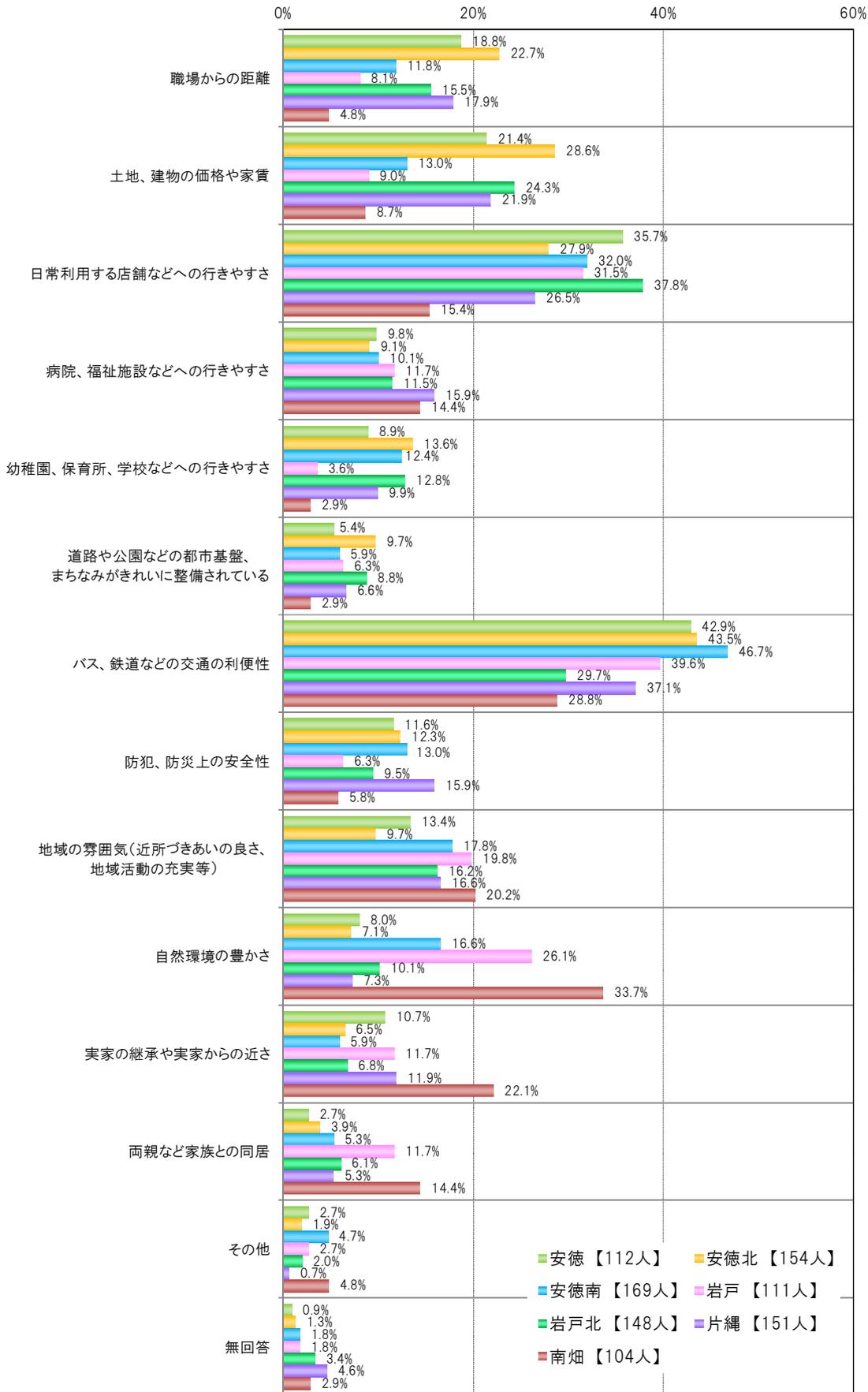


複数回答

□ 年代別



□ 居住地域別



3. 身近な施設の利用状況について

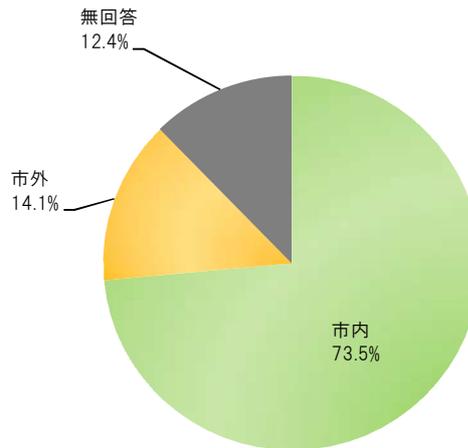
- ◆身近な施設として、商業施設(買いまわり品)のみ市外の施設を利用する割合(80.0%)が市内(10.3%)より多い
- ◆身近な施設の移動手段は、高齢者福祉施設の送迎車を除き、自動車・バイクが5割以上を占める
- ◆アクセス利便性の満足度は概ね6割以上と高い傾向だが、商業施設(買いまわり品)のみ不満傾向が3割を超える

問8～問12は、身近な施設の利用状況についてお聞きます。施設の種類ごとに最も良く利用する施設の「①施設名」をご記入いただき、「②場所」「③主な移動手段」、「④アクセスの利便性」について、最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

問8 食料品や飲料などの買い物に最もよく利用する店舗について

②場所

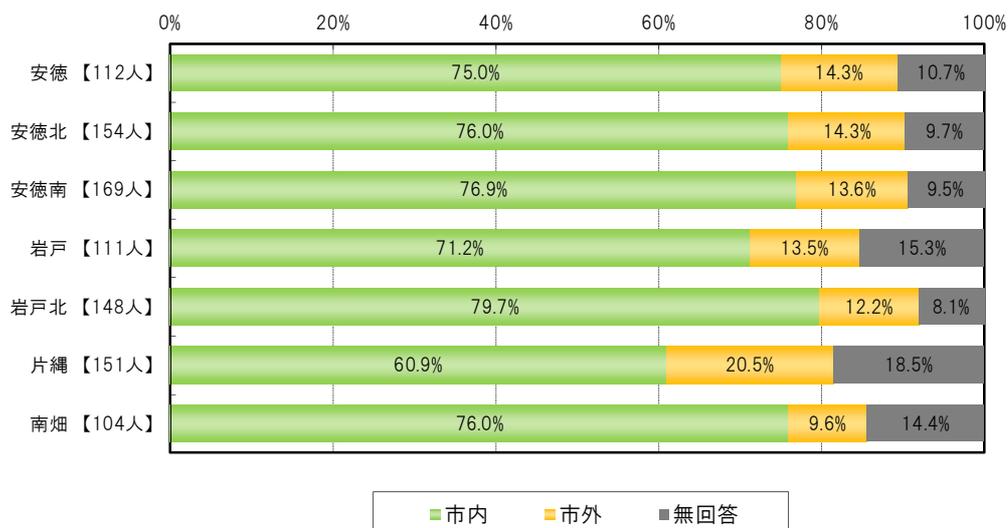
選択肢	件数	比率
1. 市内	702	73.5%
2. 市外	135	14.1%
無回答	118	12.4%
計	955	100.0%



主な施設(整理中)

市内	ハローデイ那珂川店(139)、マックスバリュ那珂川店(89)マルキョウ那珂川店(69)
市外	春日市)ルミエール春日店(48) 福岡市)レッドキャベツ老司店(12)

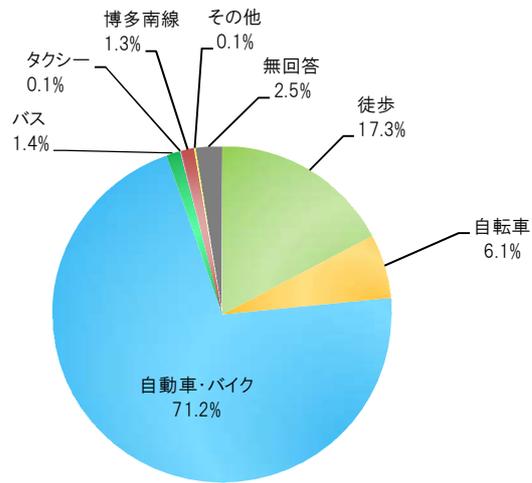
□ 居住地域別



③主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	152	17.3%
2. 自転車	54	6.1%
3. 自動車・バイク	626	71.2%
4. バス	12	1.4%
5. タクシー	1	0.1%
6. 博多南線	11	1.3%
7. その他	1	0.1%
無回答	22	2.5%
計	879	100.0%

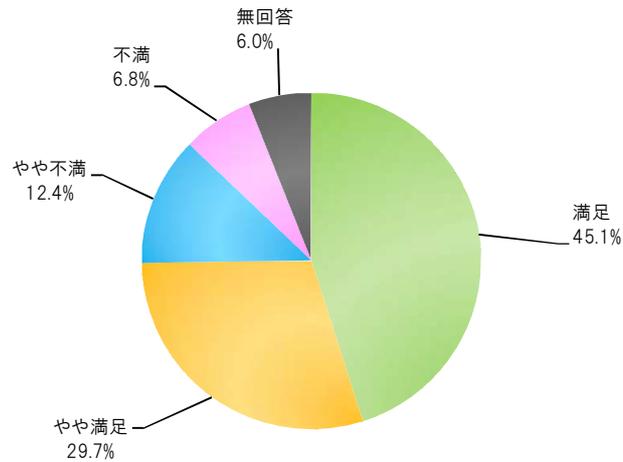
複数回答による集計除外76名



④アクセスの利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	429	45.1%
2. やや満足	283	29.7%
3. やや不満	118	12.4%
4. 不満	65	6.8%
無回答	57	6.0%
計	952	100.0%

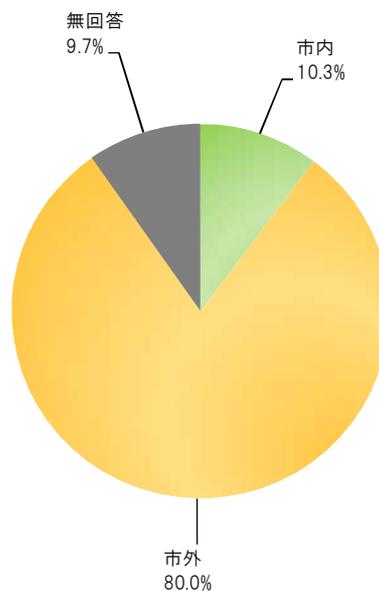
複数回答による集計除外3名



問9 衣料品、家具・家電や趣味品など(買い回り品)の買い物に最もよく利用する店舗について

②場所

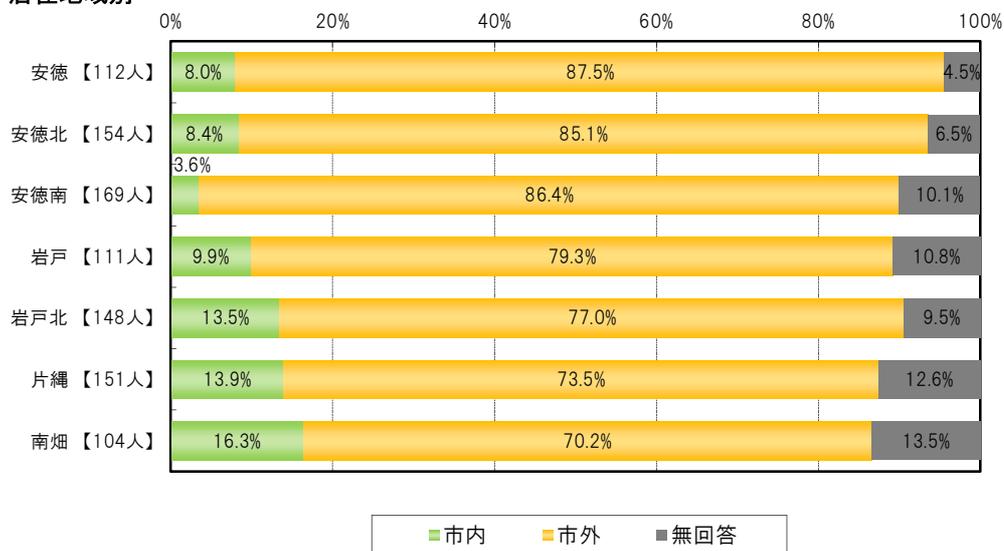
選択肢	件数	比率
1. 市内	98	10.3%
2. 市外	764	80.0%
無回答	93	9.7%
計	955	100.0%



主な施設(整理中)

市内	メガドンキホーテ(22)
市外	春日市)春日フォレストシティ、(306)ザ・モール春日店(27) 筑紫野市)イオンモール筑紫野(108)

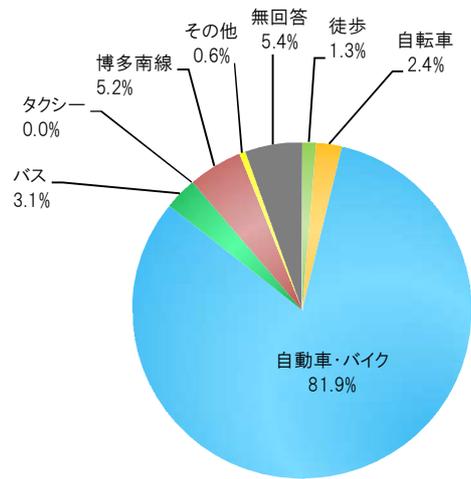
□ 居住地域別



③主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	12	1.3%
2. 自転車	22	2.4%
3. 自動車・バイク	737	81.9%
4. バス	28	3.1%
5. タクシー	0	0.0%
6. 博多南線	47	5.2%
7. その他	5	0.6%
無回答	49	5.4%
計	900	100.0%

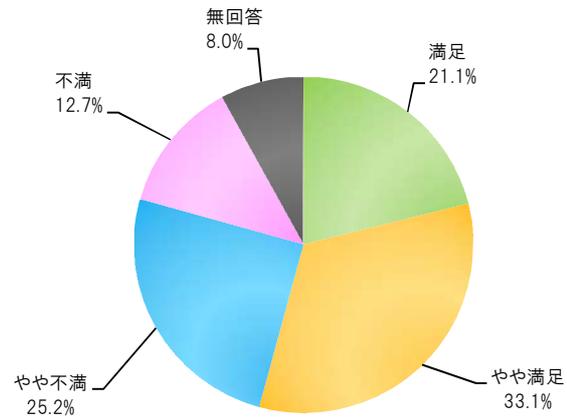
複数回答による集計除外55名



④アクセスの利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	201	21.1%
2. やや満足	316	33.1%
3. やや不満	240	25.2%
4. 不満	121	12.7%
無回答	76	8.0%
計	954	100.0%

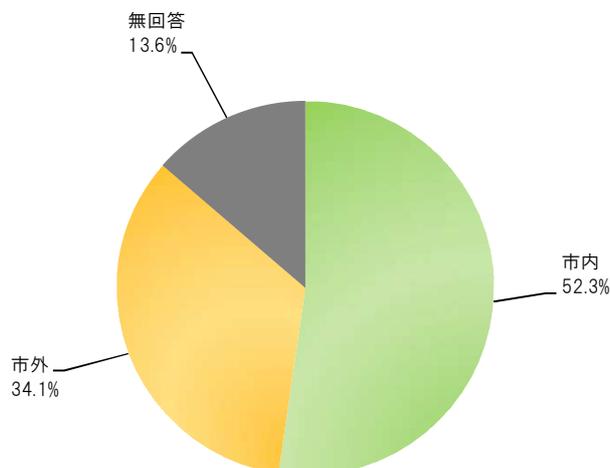
複数回答による集計除外1名



問10 最もよく利用する病院や診療所への通院について

②場所

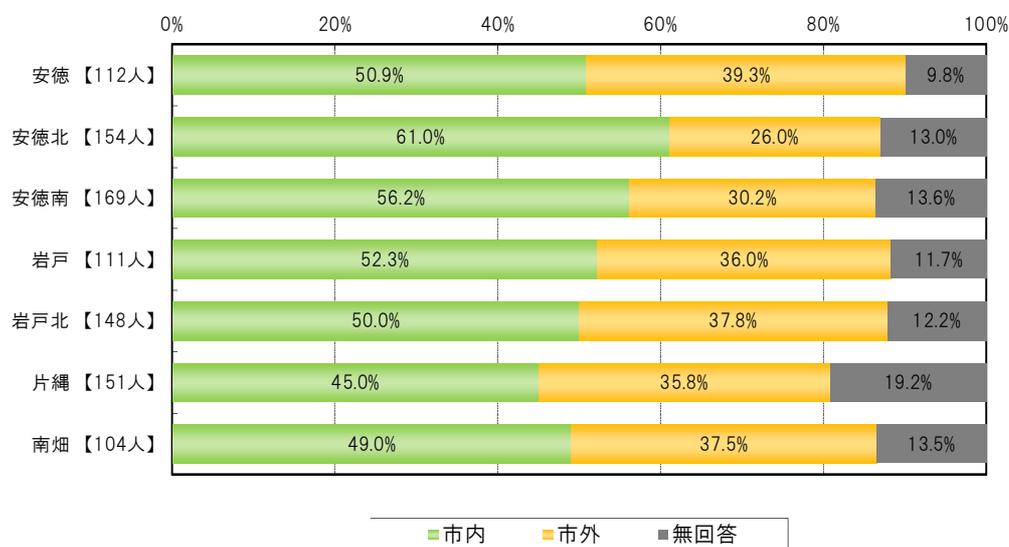
選択肢	件数	比率
1. 市内	499	52.3%
2. 市外	326	34.1%
無回答	130	13.6%
計	955	100.0%



主な施設(整理中)

市内	いわお小児科医院(54)、中島こうやクリニック(37)、香月内科クリニック(33)
市外	春日市)福岡徳洲会病院(39)、福岡市)社会医療法人 喜悦会 那珂川病院(30)

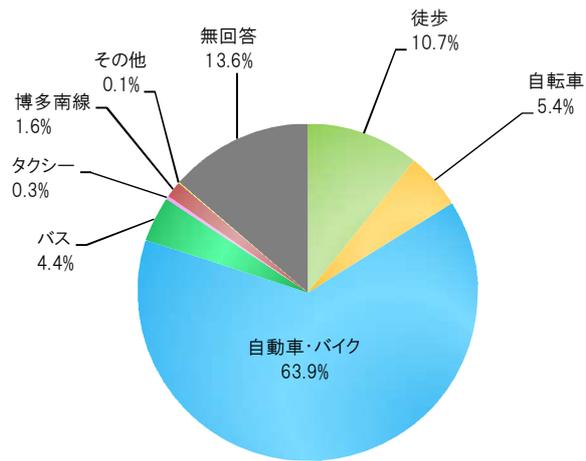
□ 居住地域別



③主な移動手段

選択肢	件数	比率
1. 徒歩	96	10.7%
2. 自転車	48	5.4%
3. 自動車・バイク	571	63.9%
4. バス	39	4.4%
5. タクシー	3	0.3%
6. 博多南線	14	1.6%
7. その他	1	0.1%
無回答	122	13.6%
計	894	100.0%

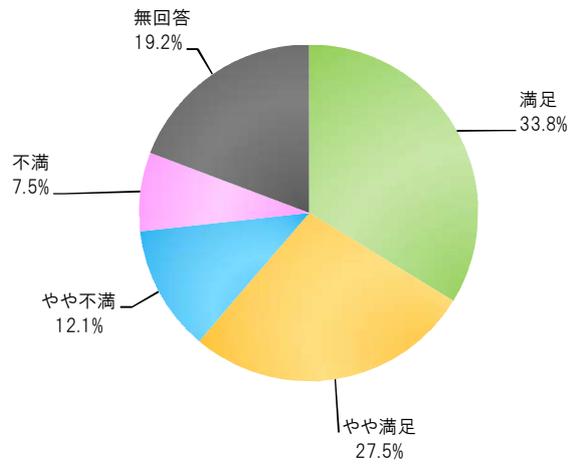
複数回答による集計除外61名



④アクセスの利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	322	33.8%
2. やや満足	262	27.5%
3. やや不満	115	12.1%
4. 不満	72	7.5%
無回答	183	19.2%
計	954	100.0%

複数回答による集計除外1名

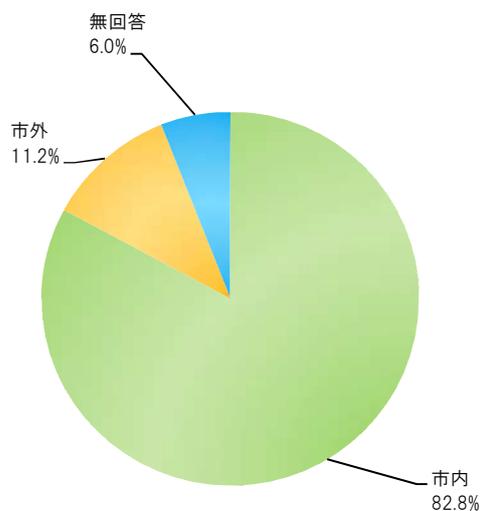


問11 保育所・幼稚園等への通園について ※ご家族のご利用がある方のみ

利用者(問11①～④のいずれかに回答) 134人

②場所

選択肢	件数	比率
1. 市内	111	82.8%
2. 市外	15	11.2%
無回答	8	6.0%
計	134	100.0%



主な施設(整理中)

市内	那珂川第一幼稚園(13)、岩戸北幼稚園(12)
市外	春日市もみの木幼稚園(4)

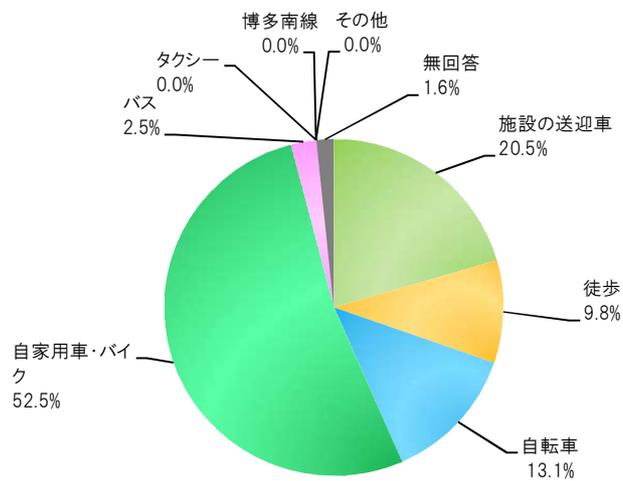
□ 居住地域別



③主な移動手段

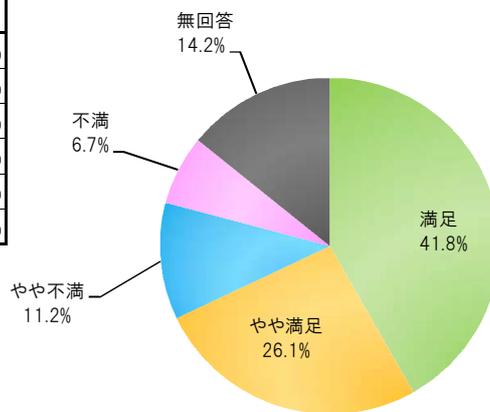
選択肢	件数	比率
1. 施設の送迎車	25	20.5%
2. 徒歩	12	9.8%
3. 自転車	16	13.1%
4. 自家用車・バイク	64	52.5%
5. バス	3	2.5%
6. タクシー	0	0.0%
7. 博多南線	0	0.0%
8. その他	0	0.0%
無回答	2	1.6%
計	122	100.0%

複数回答による集計除外12名



④アクセスの利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	56	41.8%
2. やや満足	35	26.1%
3. やや不満	15	11.2%
4. 不満	9	6.7%
無回答	19	14.2%
計	134	100.0%

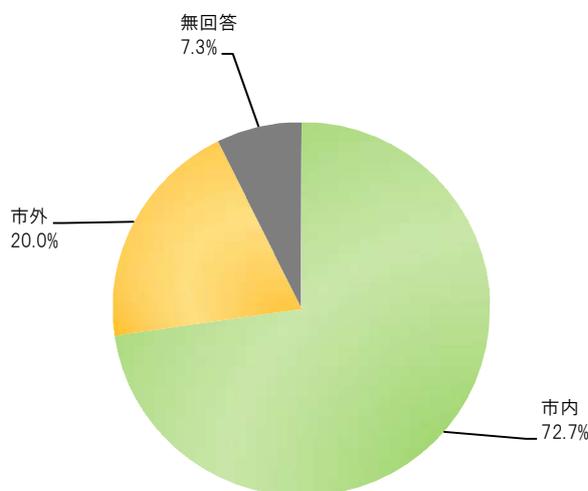


問12 通所型の福祉施設(デイケアセンター、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設、障がい者福祉施設)の利用について ※ご家族・ご本人のご利用がある方のみ

利用者(問12①～④のいずれかに回答) 55人

②場所

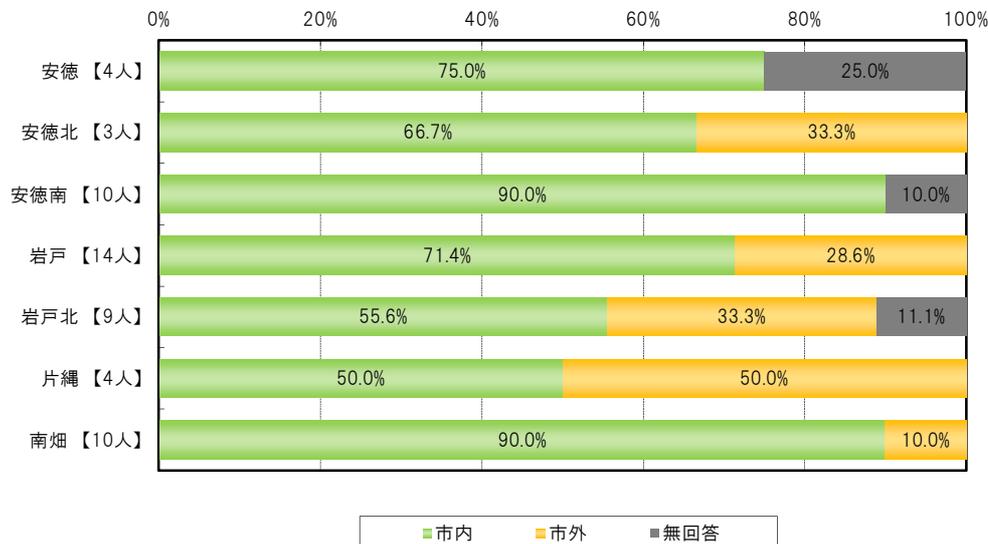
選択肢	件数	比率
1. 市内	40	72.7%
2. 市外	11	20.0%
無回答	4	7.3%
計	55	100.0%



主な施設(整理中)

市内	ねむのき、ねむのき青春宿、あじさい(16)、那珂川デイサービスほっと(5)
市外	春日市)徳洲会病院(1)、大野城市)悠生会(1) 福岡市)放課後等デイサービス まつぼっくりハウス(1)、ケアホーム 桧原(1)、井尻リハビリセンター(1)、バラの樹苑(1)、ふぁみりい(1)、ニチイケアセンター向新町(1)

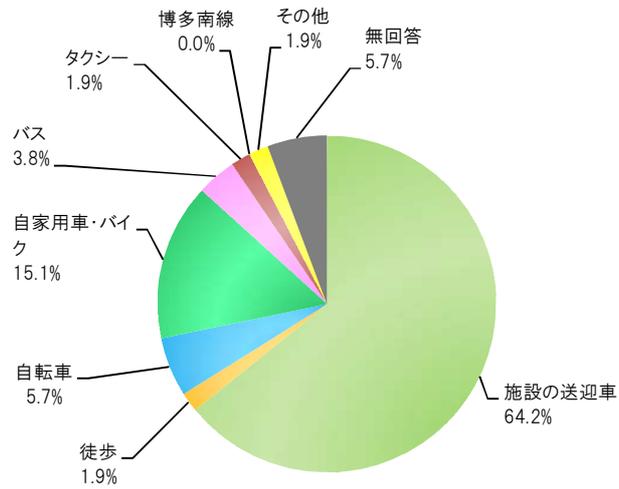
□ 居住地域別



③主な移動手段

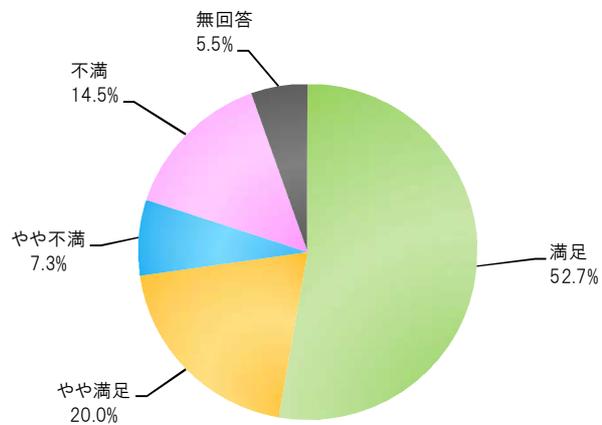
選択肢	件数	比率
1. 施設の送迎車	34	64.2%
2. 徒歩	1	1.9%
3. 自転車	3	5.7%
4. 自家用車・バイク	8	15.1%
5. バス	2	3.8%
6. タクシー	1	1.9%
7. 博多南線	0	0.0%
8. その他	1	1.9%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%

複数回答による集計除外2名



④アクセスの利便性

選択肢	件数	比率
1. 満足	29	52.7%
2. やや満足	11	20.0%
3. やや不満	4	7.3%
4. 不満	8	14.5%
無回答	3	5.5%
計	55	100.0%

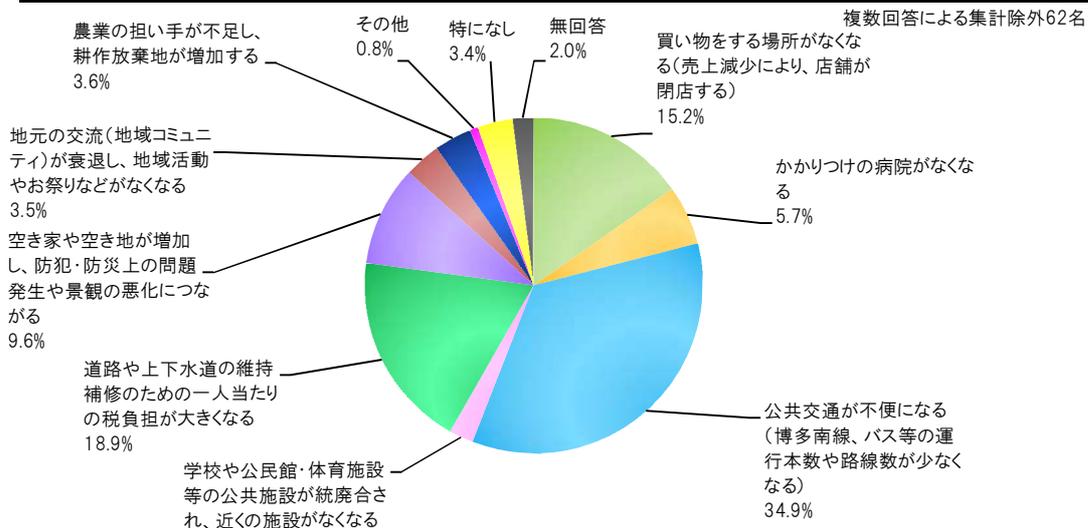


4. コンパクトなまちづくりに向けて

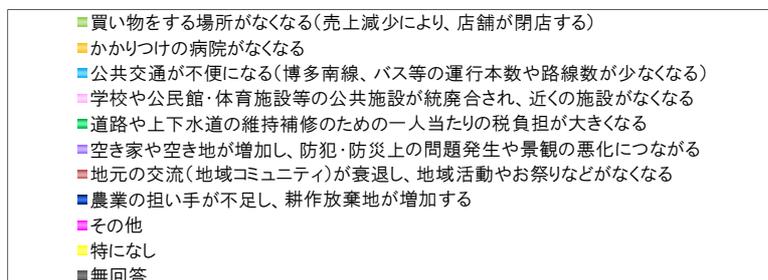
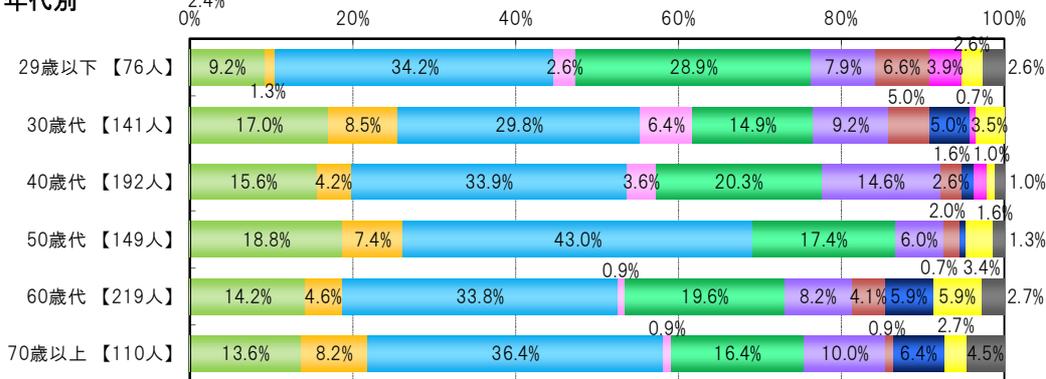
問13 将来、人口減少や少子高齢化が進行した場合に、予想される日常生活への影響に関して、ご自身の普段の生活に最も関係するものはどれだと思いますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- ◆人口減少・少子高齢化が進むことにより公共交通が不便になることを懸念する割合が最も多く(34.9%)、次いで道路や上下水道の維持補修のための税負担の増加(18.9%)、買い物をする場所がなくなる(15.2%)の割合が多い
- ◆年代別にみても全ての年代において公共交通の不便さを懸念する割合が最も多い
- ◆地域別にみると、片縄地域のみ道路や上下水道の維持補修のための一人あたりの税負担への懸念が最も多く(26.3%)、その他地域は全て公共交通の不便さを最も懸念している

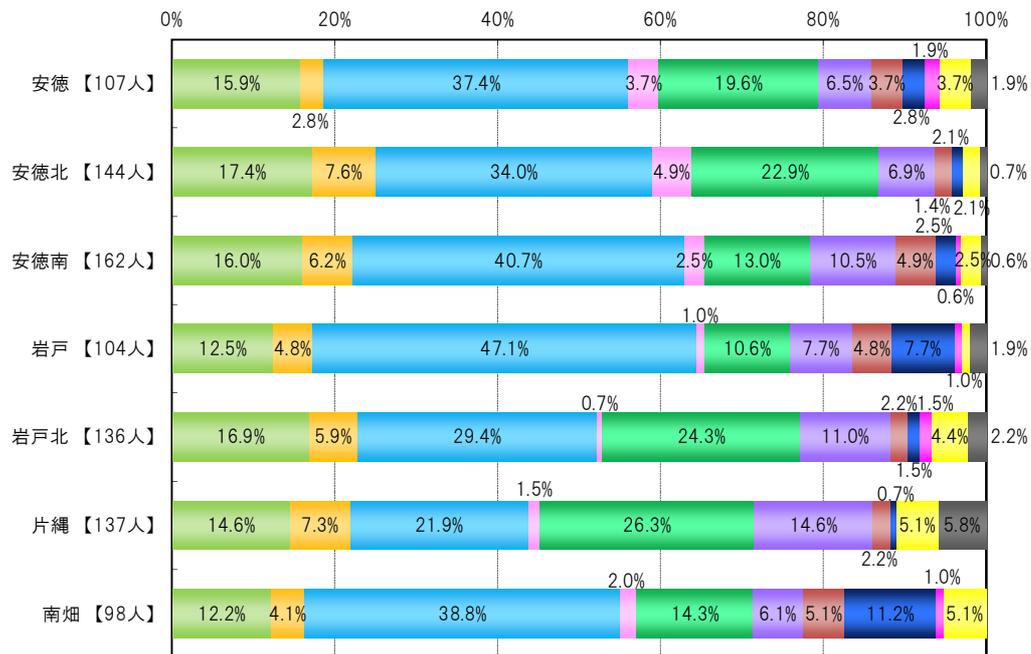
選択肢	件数	比率
1. 買い物をする場所がなくなる(売上減少により、店舗が閉店する)	136	15.2%
2. かかりつけの病院がなくなる	51	5.7%
3. 公共交通が不便になる(博多南線、バス等の運行本数や路線数が少なくなる)	312	34.9%
4. 学校や公民館・体育施設等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる	21	2.4%
5. 道路や上下水道の維持補修のための一人当たりの税負担が大きくなる	169	18.9%
6. 空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題発生や景観の悪化につながる	86	9.6%
7. 地元の交流(地域コミュニティ)が衰退し、地域活動やお祭りなどがなくなる	31	3.5%
8. 農業の担い手が不足し、耕作放棄地が増加する	32	3.6%
9. その他	7	0.8%
10. 特になし	30	3.4%
無回答	18	2.0%
計	893	100.0%



□ 年代別



□ 地域別



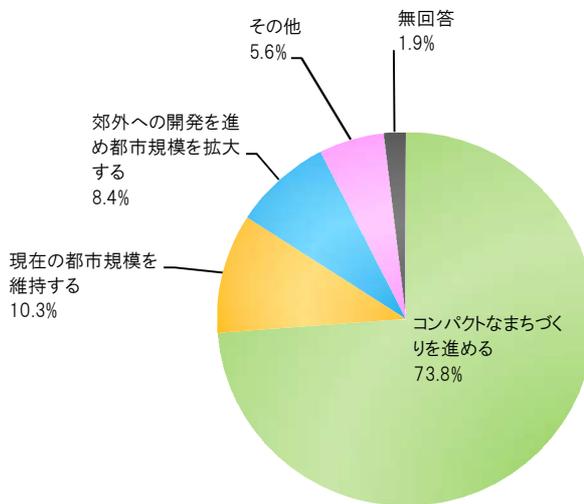
- 買い物をする場所がなくなる(売上減少により、店舗が閉店する)
- かかりつけの病院がなくなる
- 公共交通が不便になる(博多南線、バス等の運行本数や路線数が少なくなる)
- 学校や公民館・体育施設等の公共施設が統廃合され、近くの施設がなくなる
- 道路や上下水道の維持補修のための一人当たりの税負担が大きくなる
- 空き家や空き地が増加し、防犯・防災上の問題発生や景観の悪化につながる
- 地元の交流(地域コミュニティ)が衰退し、地域活動やお祭りなどがなくなる
- 農業の担い手が不足し、耕作放棄地が増加する
- その他
- 特になし
- 無回答

問14 那珂川市が持続的な発展を遂げていくためには、今後どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

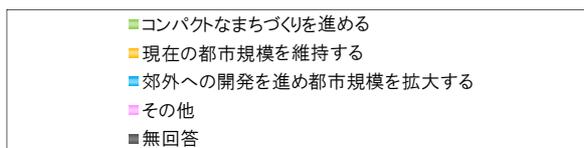
- ◆人口減少・高齢化の中でコンパクトな都市づくりを進めるべきとする割合が最も多い(73.8%)
- ◆年代別・地域別にみてもコンパクトなまちづくりを進めるべきとする割合が最も多い

選択肢	件数	比率
1. コンパクトなまちづくりを進める	702	73.8%
2. 現在の都市規模を維持する	98	10.3%
3. 郊外への開発を進め都市規模を拡大する	80	8.4%
4. その他	53	5.6%
無回答	18	1.9%
計	951	100.0%

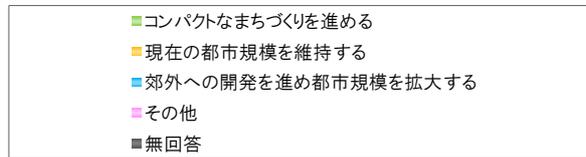
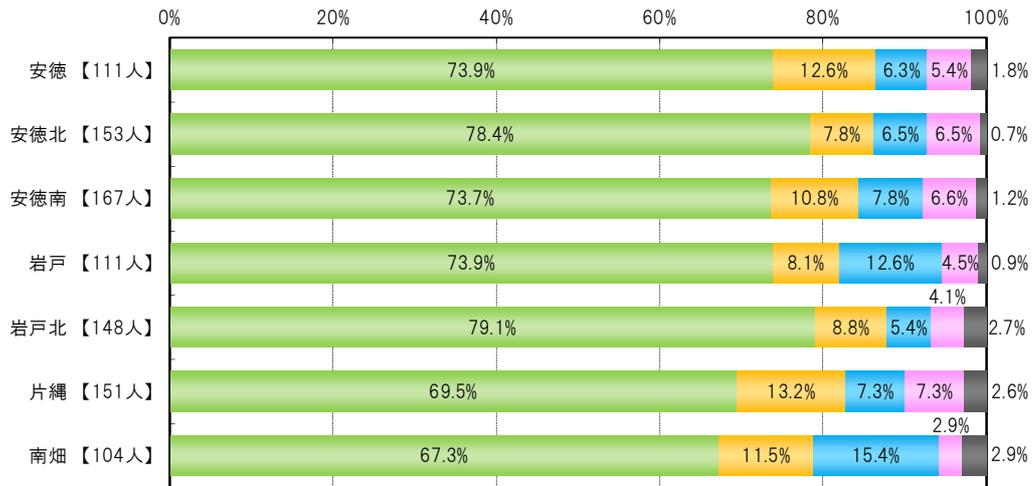
複数回答による集計除外4名



□ 年代別



□ 地域別



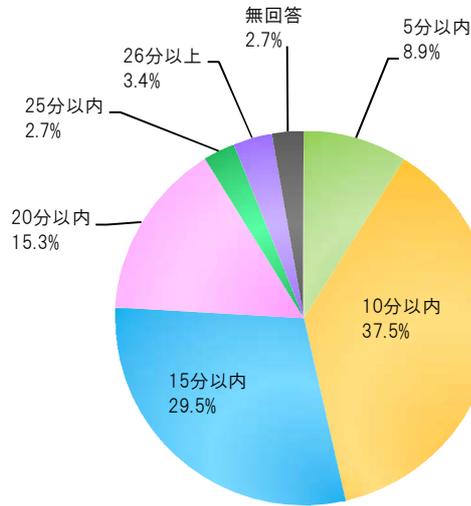
問15～問20は、自家用車を使用せず、徒歩や公共交通機関のみを利用して生活する場合を想定して、お答えください。

問15 商業施設や病院等の日常的に利用する施設まで、自宅から何分ぐらいであれば徒歩で利用しますか。最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

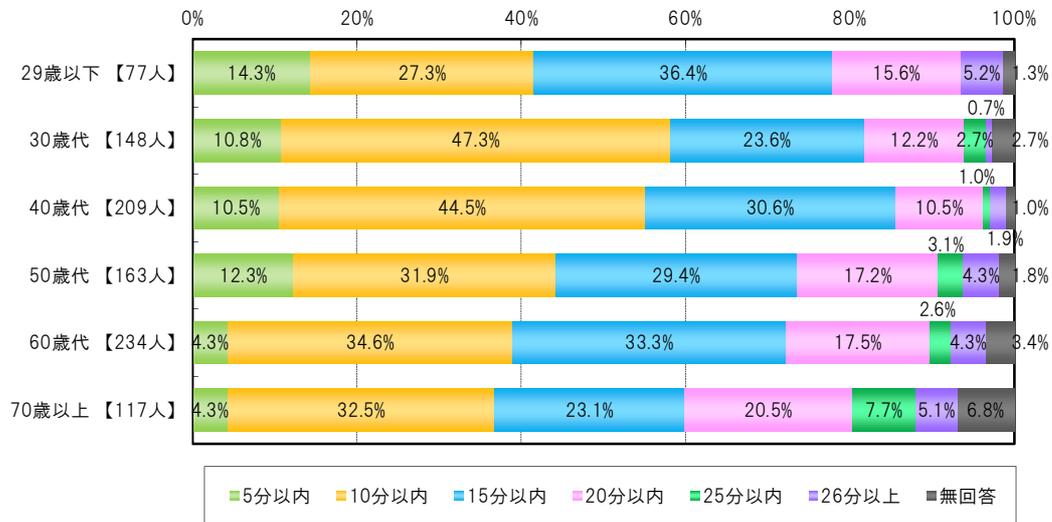
- ◆ 日常的に利用する施設までの徒歩圏を10分以内とする割合が最も多く(37.5%)次いで15分以内(29.5%)
- ◆ 年代別では、30歳代以降高齢になるにつれて徒歩圏内と考える時間が長い傾向

選択肢	件数	比率
1. 5分以内	85	8.9%
2. 10分以内	358	37.5%
3. 15分以内	281	29.5%
4. 20分以内	146	15.3%
5. 25分以内	26	2.7%
6. 26分以上	32	3.4%
無回答	26	2.7%
計	954	100.0%

複数回答による集計除外1名



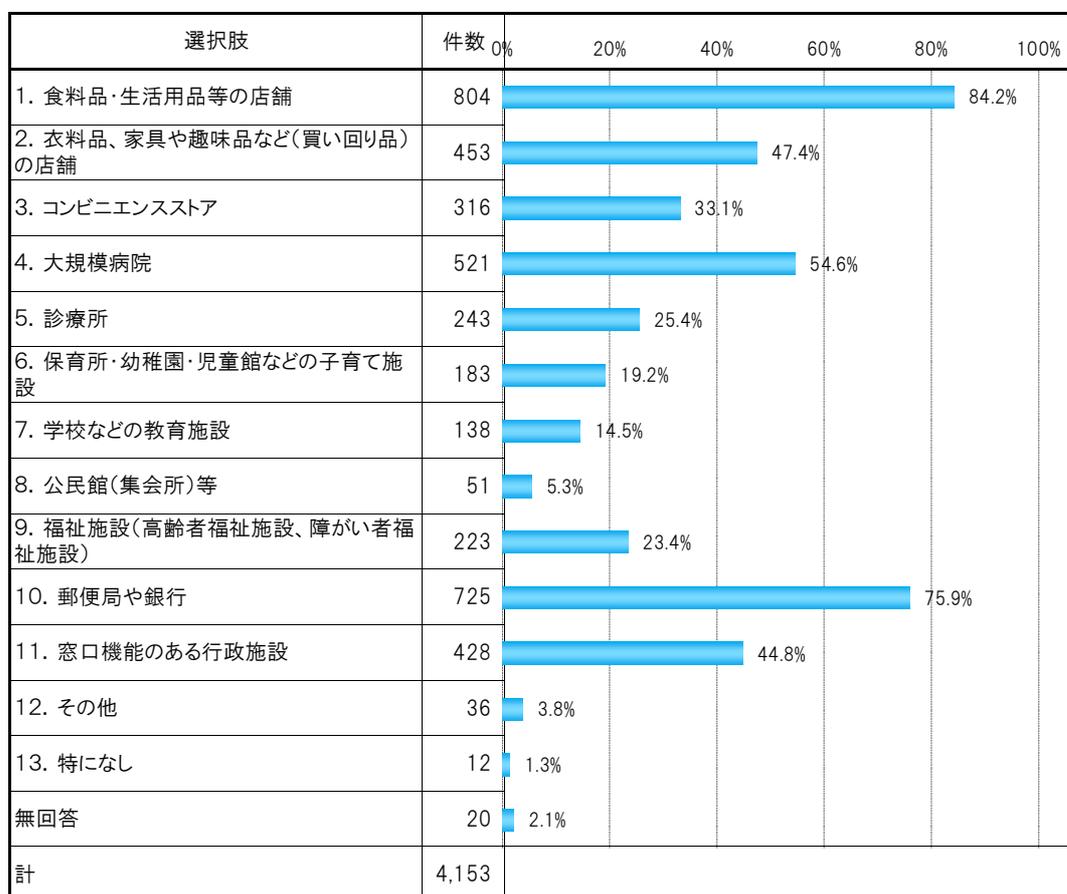
□ 年代別



問16 駅やバス営業所周辺など公共交通が充実した拠点となる場所の徒歩圏内に、特に必要と思う生活サービス施設について、よくあてはまるものを最大5つ選び、番号を○で囲んでください。

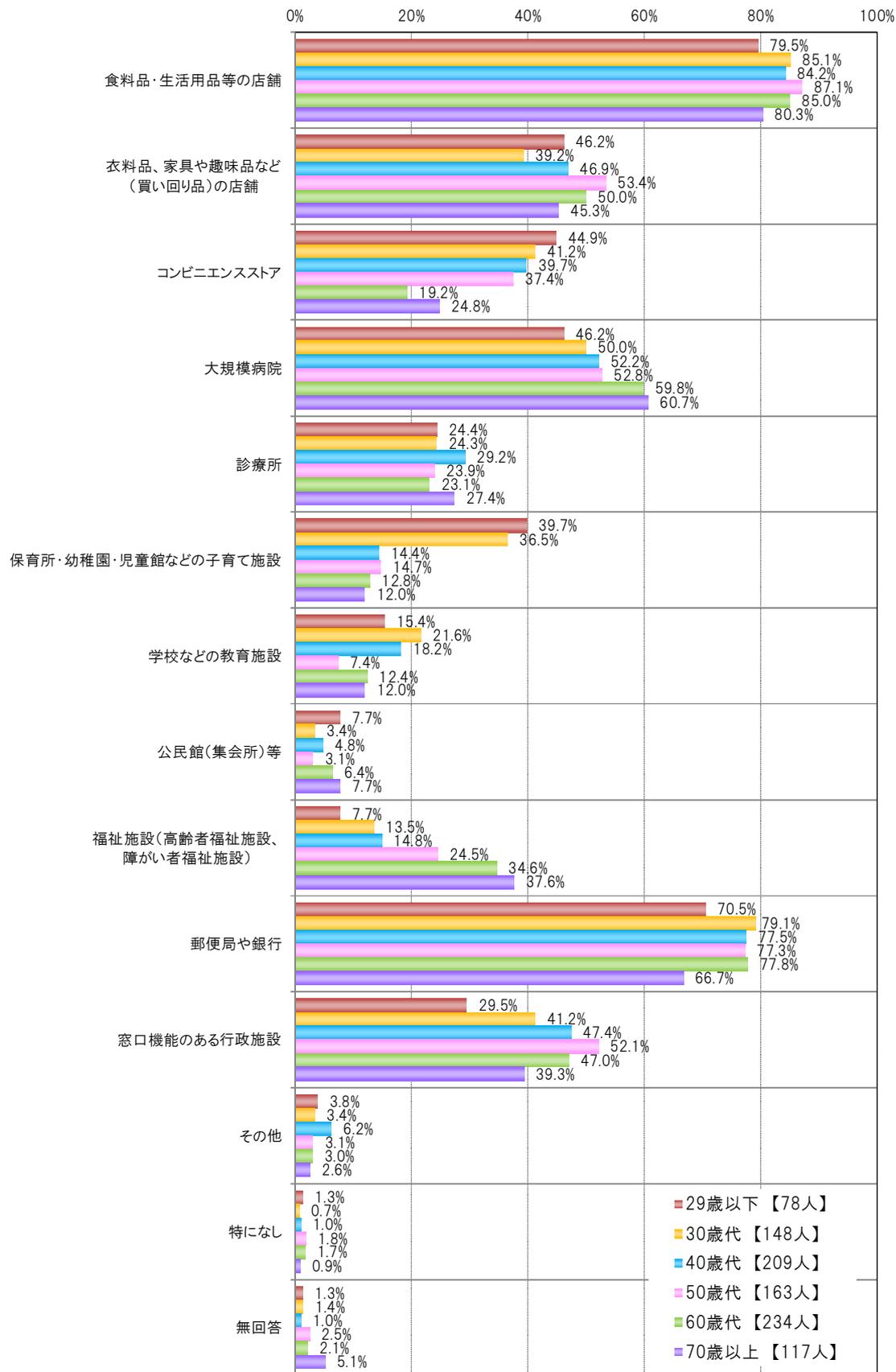
◆拠点徒歩圏内に必要な施設は食料品・生活用品の店舗(84.2%)、郵便局や銀行(75.9%)とする割合が多い

◆年代別では、若い世代ほどコンビニエンスストアを必要とし、高齢になるにつれて大規模病院や福祉施設を必要とする割合が多くなる。また、30歳代以下は他世代に比べ子育て施設を必要とする割合が多い



複数回答

□ 年代別

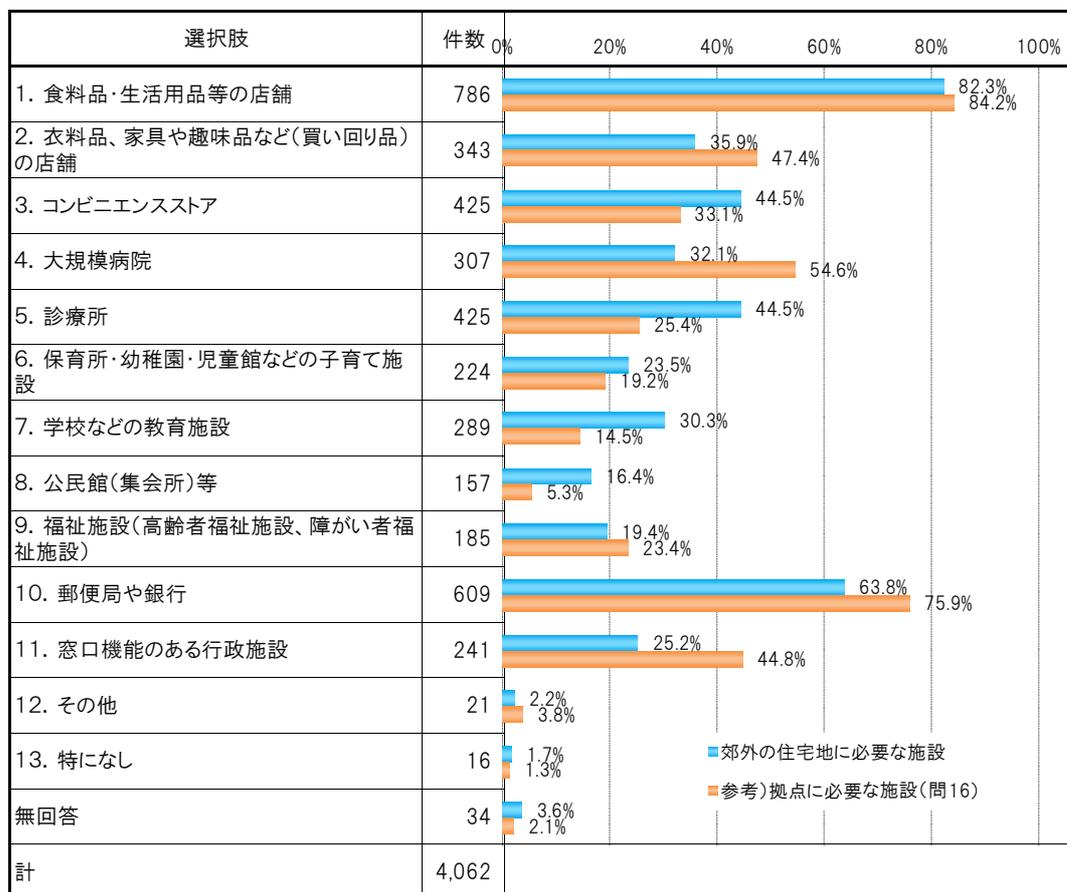


問17 郊外の住宅地から徒歩圏内に特に必要と思う生活サービス施設について、よくあてはまるものを最大5つ選び、番号を○で囲んでください。

◆郊外の住宅地の徒歩圏内に必要な施設は食料品・生活用品等の店舗(82.3%)、郵便局や銀行(63.8%)とする割合が多い

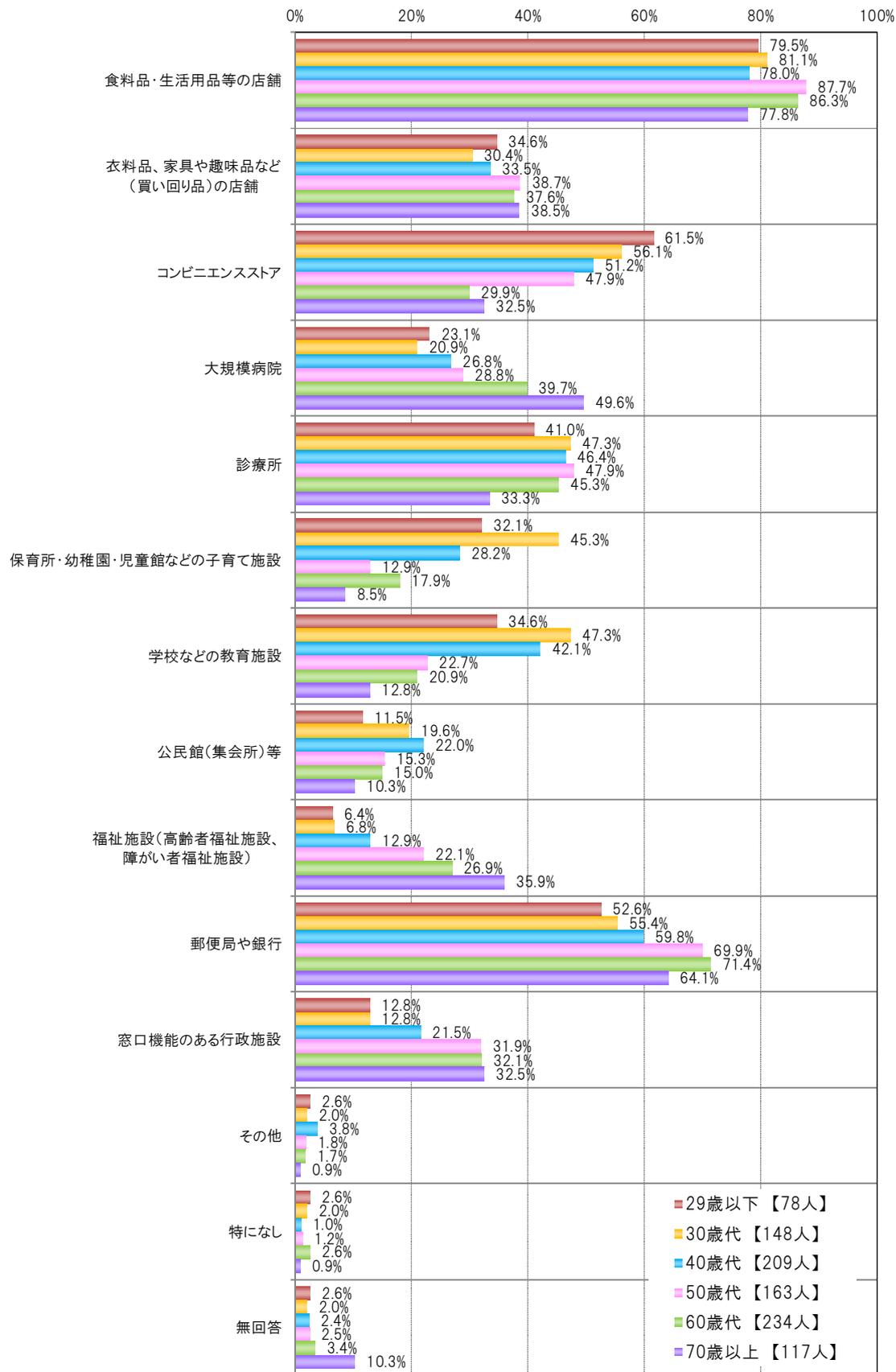
◆拠点に必要な施設(問16)と比較し必要とするという割合が大きく減るのは、買回り品店舗、大規模病院、郵便局や銀行、行政施設。一方、増えるのはコンビニエンスストア、診療所、教育施設、公民館等

◆年代別では、若い世代ほどコンビニエンスストアを必要とし、高齢になるにつれて大規模病院や福祉施設、郵便局や銀行を必要とする割合が多くなる。また、40歳代以下は他世代に比べ教育施設や子育て施設を必要とする割合が多い



複数回答

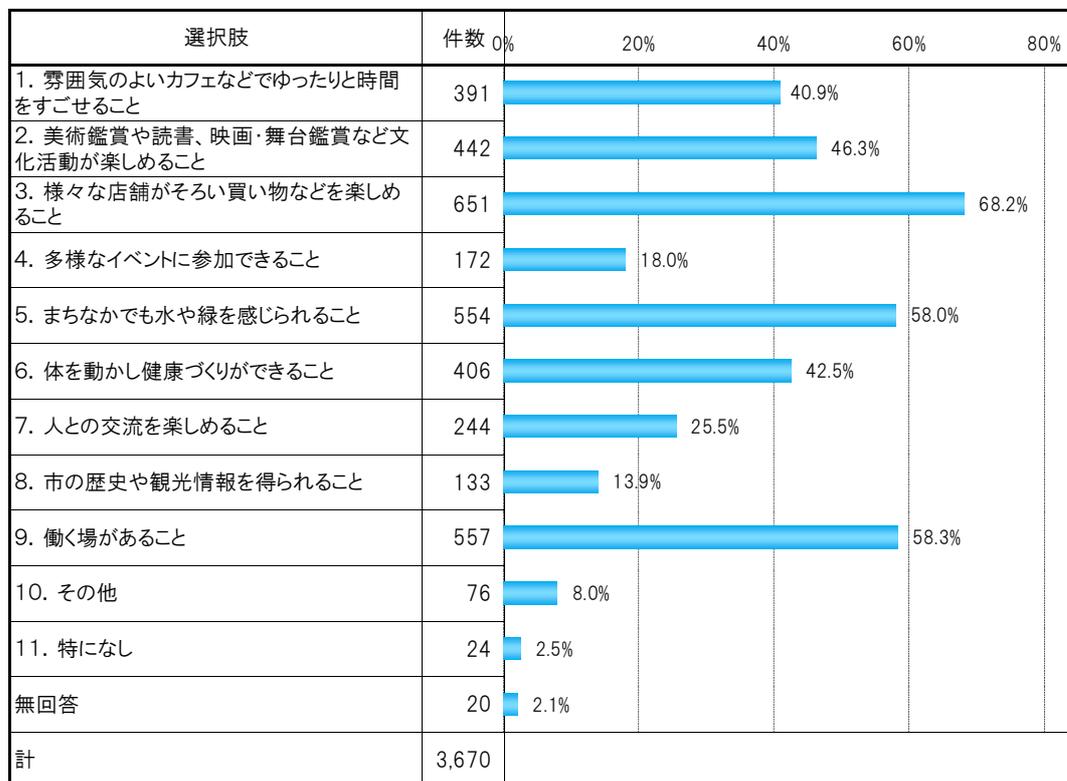
□ 年代別



問18 那珂川市の市街地の魅力を高めるために、特に充実すべきこととして、よくあてはまるものを最大5つ選び、番号を○で囲んでください。

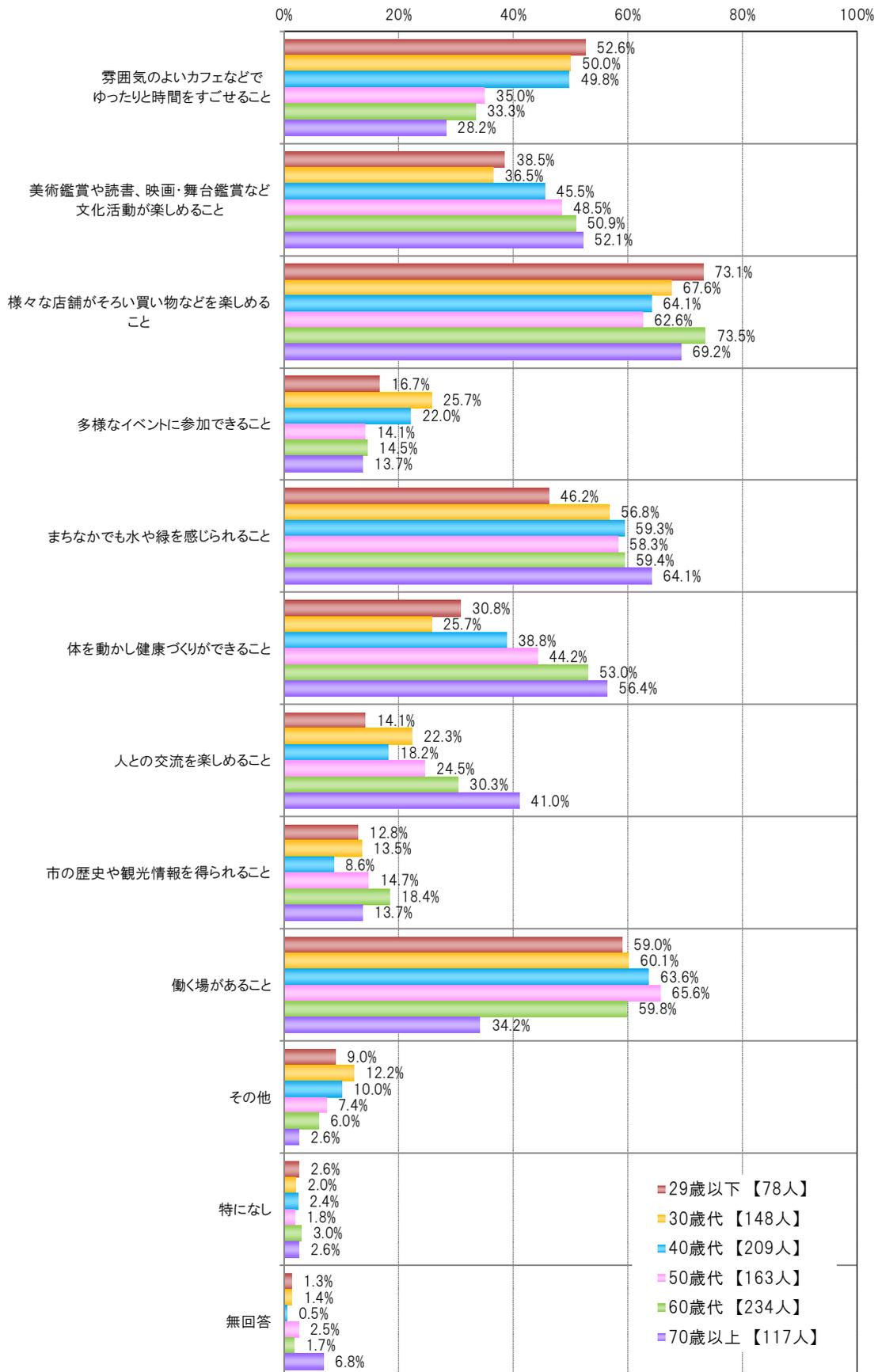
◆市街地の魅力を高めるために充実すべきこととして、「様々な店舗がそろい買い物などを楽しめること」(68.2%)の割合が最も多く、次いで「働く場があること」(58.3%)、「まちなかでも水や緑を感じられること」(58.0%)が多い

◆年代別にみると、若い世代ほど「雰囲気の良いカフェなどでゆったりと時間を過ごせること」が求められており、高齢になるにつれて割合が多い傾向にあるのは、「美術鑑賞や読書、映画・舞台鑑賞など文化活動を楽しめること」、「体を動かし健康づくりができること」、「人との交流を楽しめること」



複数回答

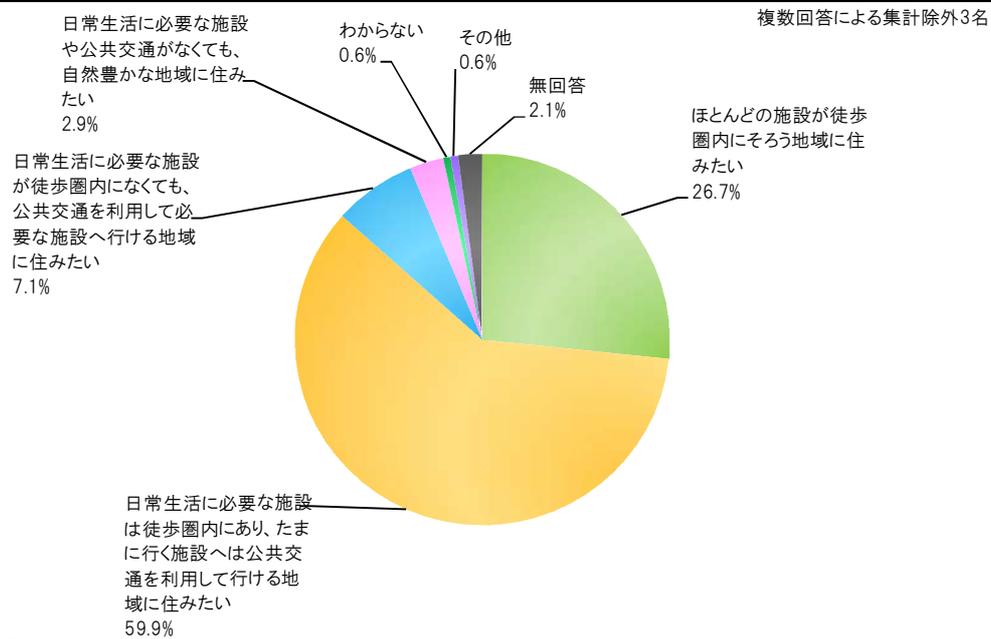
□ 年代別



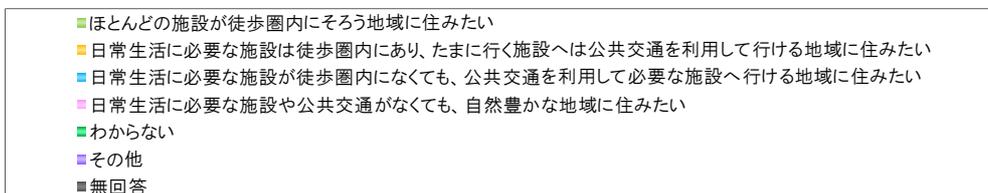
問19 自家用車を使用しないと想定した場合に、住みたい地域について、最もあてはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

- ◆ 徒歩圏内にほとんどの施設がそろう、または公共交通で補完される地域への居住意向がある割合が多い
- ◆ 年代別では若い世代ほど徒歩圏内にほとんどの施設がそろう、または公共交通で補完される地域への居住意向がある割合が多い

選択肢	件数	比率
1. ほとんどの施設が徒歩圏内にそろう地域に住みたい	254	26.7%
2. 日常生活に必要な施設は徒歩圏内にあり、たまに行く施設へは公共交通を利用して行ける地域に住みたい	570	59.9%
3. 日常生活に必要な施設が徒歩圏内になくても、公共交通を利用して必要な施設へ行ける地域に住みたい	68	7.1%
4. 日常生活に必要な施設や公共交通がなくとも、自然豊かな地域に住みたい	28	2.9%
5. わからない	6	0.6%
6. その他	6	0.6%
無回答	20	2.1%
計	952	100.0%



□ 年代別



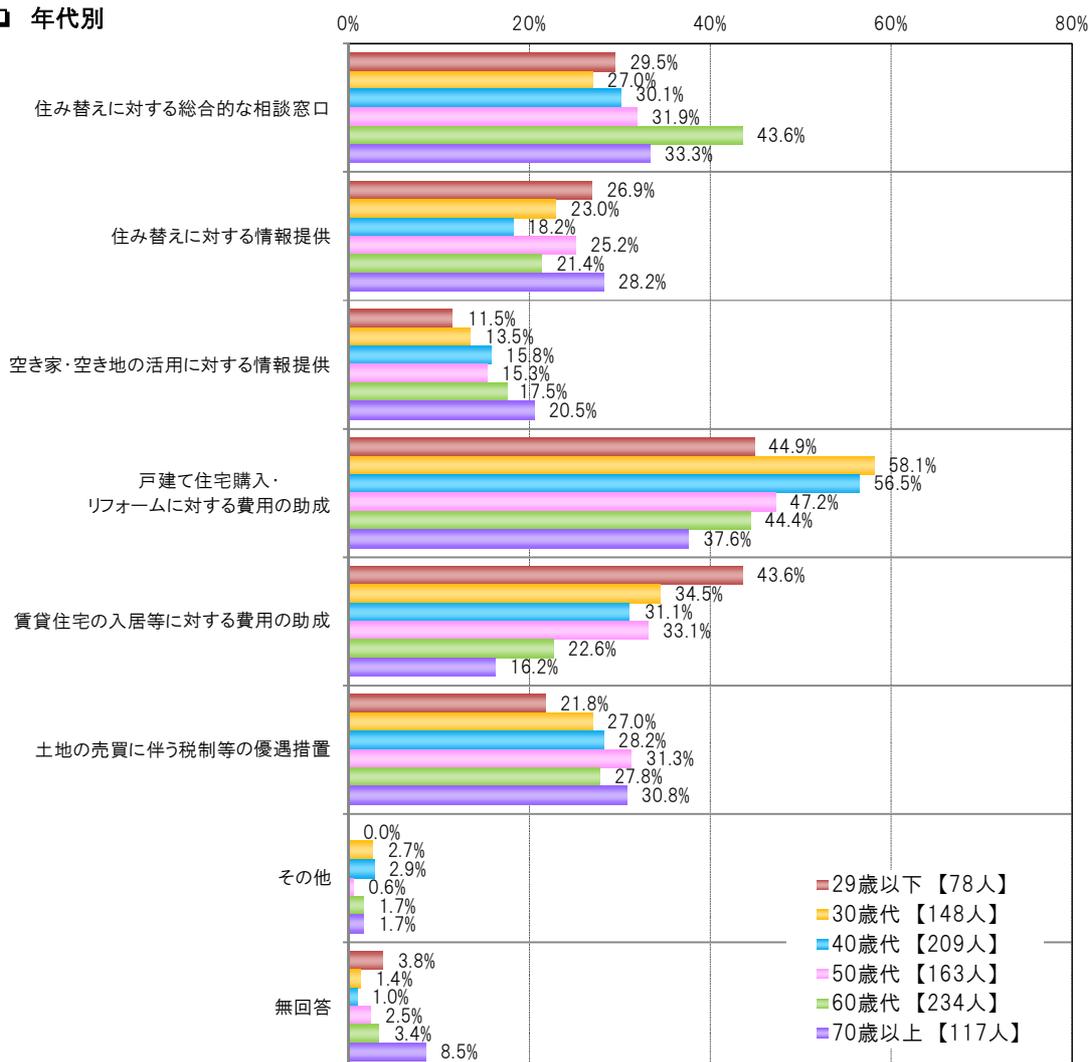
問20 公共交通や生活に必要な施設が充足した便利な地域へ住み替えると想定してください。そのとき、どのような制度(支援)があるとよいですか。よくあてはまるものを2つ選び、番号を○で囲んでください。

- ◆住み替えの際の住宅購入・リフォームに対する費用の助成を求める割合が多い(49.0%)
- ◆年代別にみると若い世代では賃貸住宅の入居等に対する費用の助成を求める割合が多い

選択肢	件数	0%	20%	40%	60%
1. 住み替えに対する総合的な相談窓口	320			33.5%	
2. 住み替えに対する情報提供	217			22.7%	
3. 空き家・空き地の活用に対する情報提供	152			15.9%	
4. 戸建て住宅購入・リフォームに対する費用の助成	468			49.0%	
5. 賃貸住宅の入居等に対する費用の助成	278			29.1%	
6. 土地の売買に伴う税制等の優遇措置	271			28.4%	
7. その他	17			1.8%	
無回答	29			3.0%	
計	1,752				

複数回答

□ 年代別



問 21 コンパクトなまちづくりについて、ご意見などがありましたらご記入ください。

整理中